

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（「公共 新訂版 共につくる未来」（公共007-902））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を十分に理解できている。・7p.に示された3つの図解などから、発達課題や欲求の階層について自らに引きつけて、十分に理解できている。【思考・判断・表現】・自身の体験を振り返りながら、青年期の持つ意味について多面的・多角的に考察し、適切に表現できている。・7p.「考えてみよう」に取り組む学習のなかで、青年期の理解を通して、自分の個性や自分らしい生き方について、多様な視点から考察し、適切に表現できている。【主体的に学習に取り組む態度】・自立した主体としての「個人」のあり方について、現代社会に見られる公共的な課題の解決を視野に、自ら主体的に関わろうとし、自覚を深める意欲がある。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。【思考・判断・表現】・自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意味について多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解している。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	【知識・技能】幸福をよく生きることと捉えるソクラテス、「善い」ということを、徳と捉えるギリシアや中国の思想を、それぞれ十分に理解できている。Approach 4「思考実験1」などを活用して共同体について考え、深めることができている。【思考・判断・表現】 ・p.17「考えてみよう」のなかで、共同体や個人の自由について考え方を比較して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。【主体的に学習に取り組む態度】よく生きることや徳を、自分や社会の問題として十分にとらえることができる。Approach 4「思考実験1」などを、主体的に取り組んで考え、さまざまな考えを深めようとしている。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。【思考・判断・表現】・「新型コロナウイルス問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想している。【主体的に学習に取り組む態度】・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解している。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

	<p>【知識・技能】・契約は法的拘束力を持つことが前提であることなど、基本的な知識や考え方を十分に理解できている。</p> <p>・悪質商法等から消費者を保護するための制度や法律を、具体的に十分理解できている。【思考・判断・表現】・契約が単なる約束と違う点を具体的に考察できる。また、なぜ悪質商法が横行するのか十分に考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・契約を結ぶ時にどのような点に注意すべきか、また、悪質商法の被害に遭わないためにはどうすべきか、主体的な学びのなかで、学習したことをまとめ、活用しようとしている。</p>	<p>・教材：教科書、資料集、問題集等</p> <p>・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】・現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。【思考・判断・表現】・「消費者の権利と義務」について、具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p>	○	○	○	16	
2学期	定期考査			○	○		1	
	<p>【知識・技能】・日本国憲法の平和主義と、自衛隊の存在といった防衛に関する基礎的な知識が十分に理解できている。</p> <p>・世界平和に対する貢献の必要性が、十分に理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】・憲法第9条の内容と、日本の防衛政策の現状について、矛盾なく、多面的・多角的に説明することができる。</p> <p>・世界平和への貢献について具体的に何ができるのか、自ら判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・日本の平和主義や、世界の現状を理解した上で、日本の安全保障や、世界平和の実現について具体的な在り方や主体的な関わり方を考察しようとしている。</p>	<p>・教材：教科書、資料集、問題集等</p> <p>・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】・現実社会の諸課題について、特に日本の平和主義と安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】・具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想している。「領土問題」を事例に、現在日本が抱えている「領土問題」の経緯に関する情報を収集し、読み取って、「領土問題」の解決の在り方について考察、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解している。</p>	○	○	○	11	
	定期考査			○	○		1	
3学期	<p>【知識・技能】・地方の農業地帯の経済的状況を理解することができる。社会、経済的状況を調べることがわかっており、情報の取捨選択ができている。</p> <p>・第1、2部で学んだ「プライバシー権」「自己情報コントロール権」「基本的人権の尊重」「幸福・正義・公正」などを正しく活用することができる。</p> <p>・エネルギー消費の現状を理解することができる。各種統計を集め、詳細に分析することができるようになる。</p> <p>・第1部、第1部で学んだ「SDGs」「ODA」「日本の立場・役割(個人・国家)」などを活用することができる。【思考・判断・表現】・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から、明確な課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを具体的にかつ正しく説明、論述している。【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について主体的に考察している。</p>	<p>・教材：教科書、資料集、問題集等</p> <p>・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察している。</p> <p>【思考・判断・表現・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</p>	○	○	○	11	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70